

一輪車 巧みに華やかに

華麗な演技が披露された競技大会
静岡市葵区の市北部体育館



県勢は斎藤さん、吉本さん 準V

「2021全日本一輪車競技大会」(日本一輪車協会主催)のソロ演技部門が23日、静岡市葵区の市北部体育館で行われた。ビデオ審査で予選を通過した小学生から大人までの59人が出場した。

葵区で全国大会 ソロ演技部門



県市町対抗駅伝に出場する島田市チーム
＝島田市のプラザおおりの前

12月4日に静岡市内で行われる県市町対抗駅伝(静岡陸上競技協)の橋本選手(東海)



「一致団結 連続入賞へ」

昨年9位 島田市チーム 結団式

会、静岡新聞社・静岡放送主催)に出場する島田市チームの結団式が25日、同市のプラザおおりの前で開かれた。チームは昨年、市の部で9位に入賞した。神谷義弘監督は「一致団結して、連続入賞を目指し」と誓った。主将の橋本選手(東海)

赤カブ漬物 最盛期

葵区「まいれー大川」

じまん市や通信販売へ



次々とバック詰めされる赤カブの千枚漬け
＝静岡市葵区日町の「まいれー大川」

静岡市葵区の日町に位置する大川地区でこのほど、「赤カブ」の漬け込みと出荷準備の作業が最盛期を迎えた。作業は来年1月まで続く。同区日町の農産物加工所「まいれー大川」(森久子代表)では、女性たちが農産物加工の集落などから持ち込まれた赤カブをスライサーや包丁で切りそろえた後、自家製のたれ

に漬け込み「千枚漬け」や「切り漬け」に加工。出来上がった漬物をバックに詰める作業に精を出した。

赤カブの漬物は、JA静岡市の「まいれー大川」や「じまん市」などに並ぶほか、お茶や田舎こんにゃく、栗の渋皮煮など地産の特産品とセットにした「大川発自然のおくりもの」として通信販売する。問い合わせは、まいれー大川(電話)090(7696)2003へ。

大羽洋高(2年)が選手代表として「感謝の気持ちを忘れずに、笑顔でたすきをこなしたい」と抱負を語った。



大羽洋高(2年)が選手代表として「感謝の気持ちを忘れずに、笑顔でたすきをこなしたい」と抱負を語った。

国立歴史民俗博物館の樋口雄彦教授も「沢栄一と静岡藩の群像」と題して講演した。沖縄現状知って28日まで写真展

静岡・沖縄を語る会による「琉球弧(沖縄・南西諸島)写真展」が28日まで、静岡市役所市民ギャラリーで開かれた。同会共同代表の山崎ひろみさん(70)は「沖縄県や島々で今何が起きているか伝えたい。多くの人に知ってもらいたい」と話した。

焼津企業取材 PR動画披露

静大生制作



学生たちが制作した企業のPR動画が披露された発表会＝焼津市役所

静岡大情報学部の学生が制作した焼津市内企業のPR動画が25日、焼津市役所で行われた発表会で披露された。

市役所で開かれた。今夏、インターンシップを通じて感じた企業の魅力を詰め込んだ約10分間の動画が披露された。学生が制作したのは、福一漁業、サイダ・U・MS、橋本組、田子重の4社のPR動画。いずれも企業情報や主力商品の紹介、社員インタビューで構成されている。福一漁業の動画では、焼津と水産物の歴史が紹介された。

大羽洋高(2年)が選手代表として「感謝の気持ちを忘れずに、笑顔でたすきをこなしたい」と抱負を語った。このほかの選手は次の通り。

大羽洋高(六小6) 北川陸(島田二小6) 鈴木千博(金谷小6) 鈴木千博(島田二小6) 原崎瑞依(島田五小6) 大村凌生(初倉中2) 河野将(藤枝明誠中3) 鈴木和(島田一中2) 野中理央(静岡大付属島田中2) 大村佑史(島田中1) 竹下柚稀(静岡高2) 杉本和穂(静岡高2) 田島愛理(サレジオ高2) 渡辺華那(常葉菊川高1) 枝村高輔(自営業) 松原誠(会社員) 中村紗希(愛知大町塾海(会社員) 粕谷悠(教員) 八木俊暁(会社員)

が県内で旗揚げした書を一点ずつ出品した。道研究会「抱一會」(柿下木冠理事長)の第8回抱一大会書展が28日まで、東京・銀座の東京銀座画廊美術館で開かれた。抱一會は山崎氏が1960年に設立した。2年に始まった同展覧会は、会員が通年作品を披露する書展の40回目を記念して始まった。展示を開催してきた同美術館が近く、開館する見通しで、員ら19人が、身近な風景や家族の肖像で会員の書道活動も紹介する中、今回への思いを込めた作品を出品した。